



意見広告
連載
村上栄二の
ここだけの話
村上 栄二のここだけの話

「汗水流して働く」は、「頭の中の汗水流す」という観点も重要だ。

新しい資本主義における所得・資産倍増プランにもあるように、「お金に働いてもらう」という感覚が日本国民の意識に必要なか？新産業振興という観点からこういった株式に関する議論が政治行政の場では少ない事が大いに問題だ。



新産業振興・雇用対策特別委員会
7月14日質疑

日本を取り巻く環境と状況

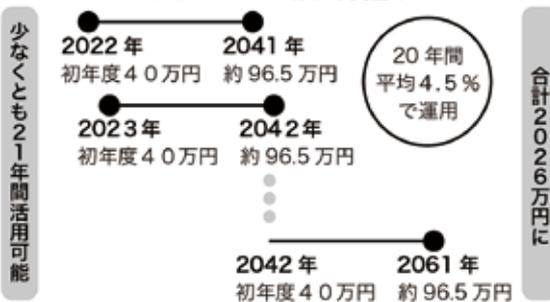
現在、日本国民現金預貯金1056兆円、政府借金は1200兆円。日本人口は少子化の一途が続いているが、世界人口は80億人を超え増え続ける。

コロナ禍で世界中の中央銀行が現金をばら撒いた結果、資金が投資や現物先物等に流れていき、さらにロシアによるウクライナ侵攻で世界の金融経済と資源確保に対する懸念は拍車がかかりインフレが起きた。

1000兆円という日本政府借金は金利政策が何もできない状況下であり、結果として世界でも先進国で日本だけが低金利を維持せざるを得ない状況にある。

「国債というのは政府から見れば借金だが、国民から見れば資産なので何の問題もない」と言った反論があるが、言い換えれば国債が国民にとって極めて重要な資産である以上、政府は国債の保有者に対して確実に利払いを実施しなければならない。

「つみたてNISA」特徴 つみたてNISAで作れる資産は？



過去の実績の平均（7.3%）で運用できれば約3400万円

年間40万円免税で20年間、手数料、報酬支払いなし。（今後、延長・免税拡大可能性大）
失われた20年と言われた過去運用実績7.3%
これから20年を政府は4.5%で見ている。
仮に積立20年間で4.5%なら頭金800万円が2026万円となり、直近の20年7.3%なら3400万円になる。
預金しても物価高で実質、現金価値を失っている現実を考えると、つみたてNISAは有用。

村上栄二のつみたてNISA ここがポイント Q & 栄

Q つみたてNISAやイデコ運用人口5%程度なのはなぜ？ 栄

手数料ゼロ、信託報酬ゼロだから金融機関や証券会社にとってはメリットなし。だから金融機関や証券会社は積極的な告知活動などはしません。

Q 退職金制度に運用できる？ 栄

毎月3～4万円を40歳の給与から給与か運用選択制を導入すれば、800万円元本が大きく反映される。手軽で確実な投資による退職金制度になります。